表1-1　静止衛星の宇宙局による不要発射の電波天文局におけるpfd閾値

宇宙業務	宇宙業務の周波数帯	電波天文の周波数帯	単一アンテナ、連続波観測		単一アンテナ、スペクトル線観測		VLBI		適用の条件：APIが下記の会議の最終文書の効力発生後に無線通信局によって受領されること
			pfd(1)	参照帯域幅	pfd(1)	参照帯域幅	pfd(1)	参照帯域幅	
	(MHz)	(MHz)	(dB(W/m²))	(MHz)	(dB(W/m²))	(kHz)	(dB(W/m²))	(kHz)	
MSS（宇宙から地球）	387-390	322-328.6	-189	6.6	-204	10	-177	10	WRC-07
BSS MSS（宇宙から地球）	1452-1492 1525-1559	1400-1427	-180	27	-196	20	-166	20	WRC-03
MSS（宇宙から地球） MSS（宇宙から地球）	1525-1559 1613.8-1626.5	1610.6-1613.8	NA	NA	-194	20	-166	20	WRC-03
RNSS（宇宙から地球）	1559-1610	1610.6-1613.8	NA	NA	-194	20	-166	20	WRC-07
BSS FSS（宇宙から地球）	2655-2670	2690-2700	-177	10	NA	NA	-161	20	WRC-03
FSS（宇宙から地球）	2670-2690	2690-2700（第一地域及び第三地域）	-177	10	NA	NA	-161	20	WRC-03
	(GHz)	(GHz)	-	-	-	-	-	-	
BSS	21.4-22.0	22.21-22.5	-146	290	-162	250	-128	250	VLBIはWRC-03、他の観測方式はWRC-07

NA:　適用なし、この周波数帯では、この方式の計測は行われない。

(1)　2000秒の積分時間によって参照帯域幅について積分されたもの。

表1-2　非静止衛星システムによる不要発射の電波天文局におけるepfd閾値(1)

宇宙業務	宇宙業務の周波数帯	電波天文の周波数帯	単一アンテナ、連続波観測		単一アンテナ、スペクトル線観測		VLBI		適用の条件：APIが下記の会議の最終文書の効力発生後に無線通信局によって受領されること
			epfd(2)	参照帯域幅	epfd(2)	参照帯域幅	epfd(2)	参照帯域幅	
	(MHz)	(MHz)	(dB(W/m²))	(MHz)	(dB(W/m²))	(kHz)	(dB(W/m²))	(kHz)	
MSS（宇宙から地球）	137-138	150.05-153	-238	2.95	NA	NA	NA	NA	WRC-07
MSS（宇宙から地球）	387-390	322-328.6	-240	6.6	-255	10	-228	10	WRC-07
MSS（宇宙から地球）	400.15-401	406.1-410	-242	3.9	NA	NA	NA	NA	WRC-07
MSS（宇宙から地球）	1525-1559	1400-1427	-243	27	-259	20	-229	20	WRC-07
RNSS（宇宙から地球）(3)	1559-1610	1610.6-1613.8	NA	NA	-258	20	-230	20	WRC-07
MSS（宇宙から地球）	1525-1559	1610.6-1613.8	NA	NA	-258	20	-230	20	WRC-07
MSS（宇宙から地球）	1613.8-1626.5	1610.6-1613.8	NA	NA	-258	20	-230	20	WRC-03

NA:　適用なし、この周波数帯では、この方式の計測は行われない。

(1)　これらのepfd閾値は、時間にして2%以上超過しないことが望ましい。

(2)　2000秒の積分時間によって参照帯域幅について積分されたもの。

(3)　本決議は、関連するコーディネート情報又は通告情報が受領された日付に関係なく、1559-1610MHz帯の無線航行衛星システムGLONASS/GLONASS-Mの現在及び将来の割当てには適用されない。1610.6-1613.8MHz帯の電波天文業務の保護は、GLONASS/GLONASS-Mシステムの通告主管庁であるロシアとIUCAFの二者間の協定及びそれに続く他の主管庁間の協定に従って確保されており、それが継続される。